

「募金趣意書」

第 51 回日本生気象学会大会(松本)開催へのご協力のお願い

謹啓

時下貴社におかれましてはますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

さて、この度、平成 24 年 11 月 9 日～10 日に第 51 回日本生気象学会大会(松本)を長野県松本文化会館にて開催する運びとなりました。

日本生気象学会は会員数約 620 名で構成される学際的な学会で、年に 1 回開催される大会には日本全国から 200 名前後の参加者があります。生気象学では、自然環境の変化や人工環境などに対するヒト、動物、植物の応答を解析し、環境と生物との関連を医学、体力医学、栄養学、人間工学、建築工学、植物学、農学、畜産学、被服学など多方面から探求しております。

今回の学会大会の特徴として、学会テーマを「地球温暖化と人類の環境適応：生気象学の次の 50 年をめざして」を掲げ、さらに、シンポジウムでは「東京の真夏の気温を 1℃下げるには？」を共通テーマとし、「気象学」、「エネルギー消費」、「都市工学」、「人体の被服・生理学」のそれぞれ 4 つの研究分野の先生方に実情と対策について講演していただくことと致しました。このように本学会のテーマは最近問題となっています熱中症予防と直結するののもであり、社会的インパクトが高いと自負しております。

本来、学会に要する費用は、学会会員が負担するべきですが、学会の次世代を担う学生や若い研究者にできるだけ多く参加していただくため、是非とも貴社のご支援・ご協力を賜りたくここにお願い申し上げます。景気の良くない厳しい状況ではありますが、この旨ご理解を賜り、何卒、格別のご高配のほど宜しくお願い申し上げます。

末筆とはなりましたが、貴社益々のご隆盛をお祈り申し上げます。

謹白

第 51 回日本生気象学会大会

大会長 能勢 博

(信州大学医学系研究科・スポーツ医科学講座・教授)

